

競技注意事項

1. 規則について

本競技会の公認種目においては 2026 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに、本大会要項により実施する。

2. 競技場使用上の注意

1) 芝生内での練習は、投擲種目実施時間を除いて可能とする。

3. 競技者の招集について

1) 一次招集はスタンド中央のテントにて行う。

2) トラック種目は競技開始 20 分前までに一次招集を受け、その後現地での最終コールを行う。

3) フィールド種目は競技開始 30 分前に現地での最終コールを行う（一次招集は行わない）。

4) **二次レース・スプリントトライアスロン 2 種目目以降は、一次招集を行わず、現地での最終コールのみとする。但し、二次レースのみ出走する者は、一次招集を受けること。**

5) リレー種目は競技開始 60 分前までに「リレーオーダー用紙」を提出すること。

4. アスリートビブスについて

1) **アスリートビブスは各自で用意すること。**

2) アスリートビブスは 20~24cm×15~20cm の布に、太さ 2cm 程度の文字で記入し、作成すること。

3) 本競技会では、アスリートビブス・安全ピンの販売を 200 円で行う。

4) 跳躍種目出場者は胸または背のみの着用を認める。

5. 用器具について

1) 競技に使用する用器具（投てき物を含む）は、主催者が用意したものを使わなければならない。

6. 競技について

1) トラック競技について

1. 計時はすべて電気計時（0.01 秒）を用いて行う。

2) 跳躍競技について

1. バーの上げ方に関しては、国際規程を適用せず、競技者と協議して定めることとする。

2. 走高跳のバーの上げ方は、競技者と協議して決めることができる。

3. 棒高跳のバーの上げ方は、競技者と協議して決めることができる。

3) 試技回数について

1. 走幅跳・三段跳・やり投について、3 回の試技を行った後、トップ 8 による決勝試技 3 回を行う。

4) 助力について

1. フィールド種目に出場している競技者に対して、録画映像を提供する者のすぐ近く（コーチングエリア近辺）であれば、録画した機材（ビデオ装置・携帯電話等）を競技者自身が手に取り、操作して確認することを認める。
2. コーチングエリアは走幅跳ピット前・やり投助走路後ろ・走高跳ピット横に設ける。
3. 写真判定装置が正常に作動しなかった場合、レース終了後1時間以上を空けて再レースを実施し、以降の種目も順次開始を遅らせる判断をする場合がある。

7. 競技会に関する問い合わせ

慶應義塾體育會競走部 板倉 勝慶

TEL : 080-7224-6789

Mail : keiotf.entry@gmail.com